

かけがえのない いのち 大切に

～3月は自殺対策 強化月間です～

◎問い合わせ

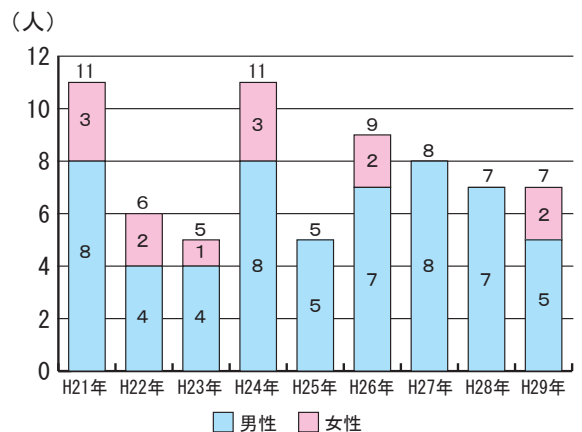
健康増進課 健康増進係 ☎51-1234

3月は1年の中でも自殺者が多い傾向にあります。就職や異動、進学、引っ越し、家族や友人との別れなど生活環境が大きく変化し、ストレスを受けやすい時期にあたることも自殺者が増える要因とされています。

◇神埼市の自殺の現状

平成29年の全国の自殺者数は21,127人、佐賀県は130人、神埼市は7人です。また、本市では、平成21年から29年の9年間で69人が自殺で命をおとしています。特に、40代から50代の働きざかりの男性に自殺者数が多い傾向にあります。

自殺は、多様かつ複合的な原因で、心理的に追い詰められた末の死であり、その多くが防ぐことができる社会的な問題とされています。本市では、これまでの自殺対策に関する取り組みを踏まえつつ、総合的に対策を推進するため「神埼市いのち支える自殺対策計画」を3月中に策定します。



※警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」(厚生労働省集計)

「こころの体温計」

メンタルヘルスチェックをしてみませんか？

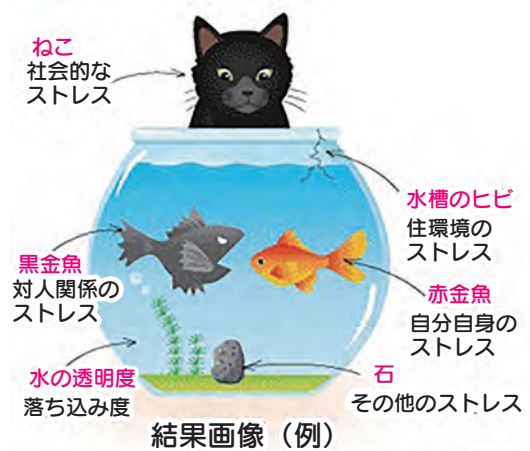
最近、こころや身体の疲れを感じていませんか。
自分自身のこころの健康状態に目を向けてみましょう。

パソコンや携帯電話で、チェックできます。簡単な質問に答えるだけで、ストレス度や落ち込み度が分かるようになっています。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.kanzaki.saga.jp/main/411.html>

神埼市 こころの体温計



こころの状態が絵になって表示されます



◀QRコード

不安や悩みを抱えている方へ

悩みを抱えている方に、市ではさまざまな相談を行っています。それぞれ専門の相談員が対応します。不安や悩みは一人で抱え込まず、相談してみませんか。

こころの健康相談

不安

心配

臨床心理士が対応します。完全予約制で、秘密は厳守します。

○相談日 3月29日(金)
13:30～14:30

○場所

神埼町保健センター等複合会館

◎予約・問い合わせ

健康増進課 健康増進係

☎51-1234

生活や仕事の悩みの相談

生活

仕事

借金

仕事や生活のことでお困りの方など、様々な理由で経済的にお困りの方へ。専門の相談支援員が、他の専門機関と連携し、解決に向け、ともに考えます。

○相談日 月～金曜日(祝日除く)
9:00～18:00

◎問い合わせ

神崎市生活自立支援センター

☎97-6730

いじめ・体罰・悩み等相談

いじめ

不登校

生活

学校生活、家庭での心配ごと。電話相談も対応します。

○相談日 月・木曜日(祝日除く)
8:30～17:15

○ところ

千代田支所2-3会議室

◎電話相談

☎44-5622

その他、健康増進課では不安や心配ごとに対する相談を受けています。(平日8:30～17:15 ☎51-1234)

周りに悩んでいる人がいる方へ

「ゲートキーパー」という言葉を知っていますか？

ゲートキーパーとは、「命の門番」のことで、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

自殺予防では、悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤立・孤独」を防ぎ、支援することが重要です。私たちは誰でも「ゲートキーパー」の役割を担っています。一人でも多くの方がゲートキーパーになり、それぞれの立場でできることから行動を起こしていくことが自殺予防につながります。

まずは、声をかけることから始めてみませんか。

気づき

家族や仲間の変化に気づいて、声をかける

発言や行動の変化、体調の変化など、こころの悩みやさまざまな問題を抱えている人が発する周りへのサインになるべく早く気づきましょう。変化に気づいたら、自分にできる声かけをしていきましょう。

傾聴

本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

悩みを話してくれたら、時間をかけて、できる限り相手の言葉に傾聴しましょう。話題をそらしたり、訴えや気持ちを否定したり、表面的な励ましをしたりすることは逆効果です。本人の気持ちを尊重し、相手を大切に思う気持ちを伝えましょう。

つなぎ

早めに専門家に相談するよう促す

こころの病気や社会・経済的な問題などを抱えているようであれば、公的相談機関、医療機関などの専門家への相談につなげましょう。相談を受けた側も、一人では抱え込まず、プライバシーに配慮した上で、本人の置かれている状況や気持ちを理解してくれる家族、友人、上司といったキーパーソンの協力を求め、連携をとりましょう。

見守り

温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

身体やこころの健康状態について自然な雰囲気ですべてをかけて、あせらずに優しく寄り添いながら見守りましょう。必要に応じ、キーパーソンと連携をとり、専門家に情報を提供しましょう。



第2次神崎市総合計画に基づくまちづくり(総務企画部)

第2次総合計画に基づくまちづくり実施計画内容の報告を各部から受け、庁内検討の上、平成31年度の取り組み等をまとめました。今回は、総務企画部の具体的取り組みを報告させていただきます。

ただし、市議会の議決前のため、取り組み案となることを前もってお断りいたします。

最初に、市政運営全般にわたる課題事項に携わる職員数ですが、合併当初は281人でスタートし、その後は合併協議会で定められた職員数となるように定年退職者数と新規採用職員数を見合わせながら、順次、職員数削減に努めてまいりました。その変化は職員数の推移表を

神崎市職員数の推移

年度	H18.3.20 合併時	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
職員数	281	282	276	274	262	258	262	257	258	262	265	266	274	276
退職者		1	8	14	23	13	13	12	19	15	11	11	13	14
採用者		0	2	7	14	9	10	10	20	12	16	11	17	15

※退職者および採用者は正規職員数。退職者は前年度における退職者数。
※職員数は各年度4月1日現在。職員数には期限付職員および再任用職員等を含む。

ご覧いただければ一目瞭然であります。定められた職員数で神崎市の行政運営を行ってまいりましたが、事務事業の処理対応能力におけるベテラン職員(知識や技能を有する退職者)と新規採用職員とでは比ぶべくもなく、結果として市民の不满をいただくことや処理対応におけるケアレスミスを招きかねない状況が見受けられるようになりました。このような市民の皆さんに満足いただけるような状況になかったことから、その後は最小限の職員増の検討を図り、今日の職員数272人(2月末現在)で、市政運営に当たっています。

今日の複雑多様化した行政課題のすべ

てに、最小限の職員で満足いくサービス対応を図るためには、常に組織機構の在り様と職員配置の柔軟な変化で臨むように留意実行することが重要だと考えています。このため、組織機構も適宜見直しを行い、さらに職員配置数も常に見直しているところです。なお、ベテラン職員等の減数および若手職員増加に伴う能力の減退に対しては、職員一人ひとりの技術力、知識力の向上を図るべく、各種の講習および研修会等への参加促進を図ってまいりました。

今後は、これまで以上に講習会や研修会を開催するとともに、他所で開催される講習会、研修会に職員参加を図り、また、私自身を含め、職員自らが自己学習に努めるよう促進し、もって第2次総合計画実現に取り組んでまいります。そのためにも、市民の皆さんの理解と協力、参画が欠かせないのでよろしくお願いたします。なお、市役所と地域(地区)との連携強化を図

るべく、合併以来取り組んできた「職員による地区担当制」の拡充を図ってまいります。

また、自治体間競争と言われる今日の行政課題にも、職員の総力を結集して積極的に取り組んでまいります。

さて、総務企画部における取り組み(抜粋)は、左表をご覧ください。

区分	事業名	区分	事業名
新規	若者応援家賃補助	新規	三世代・新婚世帯同居・近居促進住宅リフォーム支援
拡充	定住促進対策	拡充	災害対策
継続	地域公共交通確保維持改善事業費補助	継続	まちづくり市民活動支援
継続	ブランド創造	継続	ふるさと納税推進
継続	歴史文化遺産を活かしたまちづくり	継続	伊東玄朴記念館寄附募集
継続	公共施設(庁舎等)整備	継続	地方公会計制度整備活用

(1) 定住促進

本市の人口減少の課題は、すでにお知らせしたところであり、深刻な重要課題であります。この対策事業としては、これまで他自治体からの転入者を奨励勧誘するものでありましたが、転出者も市内にとどまり定住促進が図れるように従来の「定住促進対策事業」の内容拡充を図ることとしました。

また、さらに進む核家族化は家族世代間の絆の希薄化を生じ、介護や医療および子育てなどにかかる多くの社会問題を惹起しているものと思ふことから、三世代(四世代を含む)が相互に支え合える家族の在り様を求め、推奨すべく新規の「若者応援家賃補助事業」また「三世代・新婚世帯同居・近居促進住宅リフォーム支援事業」に取り組みこととしました。同居とは、同一家庭に限定せず、同一宅地内から同一小学校区内に生活することと拡大解釈するものです。以前よく耳にした「スーパの冷めない距離」の解釈と認識するところです。

(2) 移動手段の確保

モーターゼーションが叫ばれてから半世紀を経過し、一人一台を所有する車社会の中で、公共交通のバス路線は赤字のため運行路線廃止が図られています。また、運転免許証所持者の高齢化で、自家用車での移動ができなくなるといふ社会現象が顕著になり、住民の移動手段確保が大きな社会問題となっております。

先に実施した「市長と語る会」では、たくさんの方から善処策への要請を受け、平成30年度から、巡回バス運行の改善策、免許証返納にかかる支援対応策等についての研究、検討を重ねてきました。また、アンケート調査を行い、すべてには及ばずとも、市民により喜んでもらえるような対応策を示すべく、さらに研究、検討を重ねることが必要と考えています。平成31年度の1年間、ご辛抱をお願いします。ただし、運転経歴証明書を受けるために必要な手数料は平成31年度から補助できるようにします。

(3) まちの活性化

まちの活性化については、その人の立ち位置やものの考

え方や価値観等によって大きく変わりますので、一概に述べることはできませんが、総務企画部における活性化の事業として、さらに取り組み強化を図ることとしています。

ブランド創造事業では、従来の「和菱」の焼酎、ひしぼろの商品化から、さらに、商工会との連携をはじめ産学官連携により、お茶や化粧品へと展開を拡大させます。また、他の作物にも対象を広げ、選択と発見に取り組み、新たな6次化ブランドの創造に努めてまいります。挑戦していただく市民等の皆さんへの支援策が必要となれば、新しくその支援制度の創設も前向きに取り組み覚悟であります。

また、爾來、神崎市は、「光を放つ、光が当てられた地域」であります。このため、地域に眠る多くの歴史文化遺産を発掘し、整理し、保存と活用にも必要があると考えます。このことで昨年から準備を行っていた「神埼情報館整備事業」「伊東玄朴記念館寄附募集事業」を引き続き力を入れて臨んでまいります。なお、「歴史文化遺産を活かしたまちづくり事業」でもって、市民一人ひとりが郷土

『神埼』を知ること誇りを抱き、来訪者等に語り伝えることができるように、広く各種講座等を開催していきます。

(4) 災害対策

ハザードマップによる災害対策をそれぞれの地域に適したものに努めてまいります。しかし近年は、地震や大雨による大規模な自然災害が発生し、神崎市でもいつ発生しても不思議ではありません。このことから、城原川ダムの早期建設と河川改修事業の促進は時を待たず、知事はじめ県議および国会議員とスクラムを組み、要請を行ってまいります。その他の中小河川改修も同様であります。

また、本市は天井川である城原川と田手川に囲まれた地域に市街化区域があります。近年の水害の実態を見ると、浸水地域におけるその浸水位の上昇は極めて短時間であり、このため住民の避難と同時に車の避難も行わなければ、生命の危険と住民の移動ができずにパニックとなります。このことから、人と車を避難させる防災道路（R34号線とJRを同時にまたぐ陸橋道路）の建設を要請するため、佐賀大学との連携で研究を既に行っています。

なお、被害に遭えば人命救助は当然、支援物資が必要となることから、災害支援物資の備蓄基地としてのまちづくりができないかも研究検討を進めたいと考えています。

(5) 財政その他

市政運営を進めるに当たり、全て予算を伴うものですが、必要なもの（説明できるもの）は大胆に実行し、節約できるものは見送るなど、財政運営の鉄則に基づき努めてまいります。平成29年度から地方公会計制度の財政分析が、全国統一のルールで行うよう開始され、この分析により得られた成果をもとに今後の財政運営に活かしてまいります。同時に、分析の結果は、その都度お知らせしてまいります。

また、再来年度から市の下水道事業会計では、企業会計の考え方を取り入れた「公会計制度」の適用を受けることとなるので、遺漏の無いようしっかりと準備を図っています。実施事業内容の詳細について知りたい方は、総務企画部にお尋ねください。

神崎市長 松本 茂幸

市長交際費の公表

(平成31年1月分)

項目	件数	支出額(円)
弔慰	1	5,000
御祝	13	39,000
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	0	0
計	14	44,000

夜の市長室

どんなことでも構いません。皆さまの声をお聞かせください！

○今後の予定

とき	ところ
3月5日(火)	千代田支所
4月2日(火)	脊振支所

18:00～20:00 (1組30分程度)
当日は来庁順です。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

2月の神崎市役所開催分には、3組3人が来庁されました。

※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。

※荒天などの場合は、開催の有無をお問い合わせください。

さが桜マラソン

SAGA SAKURA MARATHON 2019

3月24日（日）9時スタート

みんなでランナーを応援して大会を盛り上げましょう！

3月24日（日）、「さが桜マラソン2019」が開催されます。当日は、全国から約8,500人のランナーが神埼市内のコース約11kmを駆け抜けます。また、給水・給食所の運営、沿道整理や応援演奏などで市内外から約500人がボランティアとして活動されます。

吉野ヶ里歴史公園内では応援イベントを開催し、大会を盛り上げる予定です。ぜひ、コース沿道や吉野ヶ里歴史公園へお越しいただき温かいご声援をお願いします。

一緒に応援しよう！



神埼市内の応援パフォーマンス・イベント

吉野ヶ里歴史公園内

○応援パフォーマンス

出演 神埼高等学校吹奏楽部、神舞太鼓
時間 10:15～12:40（予定）



○おふるまい

そうめん（神埼そうめん協同組合）
ぜんざい（神崎市食生活改善推進協議会）
ゆるキャラ登場、応援イベントも行います！



吉野ヶ里歴史公園へ

お越しの皆さまへ

ランナーが駆け抜ける吉野ヶ里歴史公園内の県営公園側は、大会当日無料開放デーです。車でお越しの方は、「吉野ヶ里公園西入口」交差点北の臨時駐車場をご利用ください。

馬場ボデー前

○応援パフォーマンス

出演 神埼中学校吹奏楽部
時間 10:00～12:00（予定）



ふるさと大橋西

○応援パフォーマンス

出演 千代田中学校吹奏楽部
時間 10:10～13:00（予定）



沿道の花 野寄交差点～平ヶ里交差点

西郷の全25地区、鶴西、犬の目地区の皆さんが、コース周辺の花植えや清掃を行っていただいています。

ランナーに桜だけでなくきれいな花も見てもらいながら、快適に楽しんで走ってもらおうと西郷地区区長会から発案されました。